苫小牧港利用促進協議会

令和７年度
総　　会

報告事項	報告第１号	令和６年度一般会計事業報告
	報告第２号	令和６年度一般会計決算報告
	報告第３号	令和６年度特別会計事業報告
	報告第４号	令和６年度特別会計決算報告
	報告第５号	令和６年度ポートセールス積立金決算報告
	報告第６号	令和６年度会計監査報告
協議事項	議案第１号	令和７年度一般会計事業計画（案）
	議案第２号	令和７年度一般会計予算（案）
	議案第３号	令和７年度特別会計事業計画（案）
	議案第４号	令和７年度特別会計予算（案）
	議案第５号	令和７年度ポートセールス積立金予算（案）

報 告 事 項

報告第 1 号

令和 6 年度　一般会計　事業報告

1　会議の開催

総会及び理事会の開催

開催日（場所）	項目	内容
令和6年6月10日（月） （グランドホテルニュー王子 百合の間）	理事会	議事　1　当該年度総会提出議案
令和6年6月10日（月） （グランドホテルニュー王子 グランドホール南）	総会	議事　1　前年度一般・特別事業報告 2　前年度一般・特別・ポートセールス積立金決算報告 3　前年度会計監査報告 4　当該年度一般・特別事業計画(案) 5　当該年度一般・特別・ポートセールス積立金予算(案)

2　国内ポートセールス活動

国内各地の荷主及び船社等に対するポートセールス活動の実施

(1)　苫小牧港セミナー in 東京 2024

開催日時：令和6年11月13日（水）　18：30　～　20：30
開催場所：ホテル雅叙園東京　2階　大宴会場　「舞扇」
内　　容：当協議会会員の取引先である船社や物流関係者などを招待し、セミナーを実施
※内容につきましては、別添資料１をご参照ください。
参加者数：合計 420名　（内訳…参加者　350名、関係者　70名）
※関係者には、苫小牧港利用促進協議会会員等を含む。

(2)　訪問活動

訪問件数：延べ　48　件

訪 問 月	地　域	件　数	主な業種
令和6年4月	道内	1　件	エネルギー
	九州	2　件	船社、運輸業
5月	道内	3　件	エネルギー、旅行代理店
	関東	3　件	船社
6月	関東	1　件	クルーズ船社
7月	道内	5　件	運輸業、エネルギー、船社
	東北・関東・東海	3　件	エネルギー、運輸業
9月	道内	5　件	金融、荷主、運輸業
	関東	1　件	エネルギー
10月	道内	2　件	クルーズ船社、旅行代理店
	関東・北陸・中国	6　件	クルーズ船社、金融、運輸業、船社
11月	道内	1　件	エネルギー
	関東	8　件	船社、クルーズ船社、エネルギー
12月	道内	2　件	荷主、運輸業
令和7年1月	関東・中部	2　件	エネルギー、運輸業
2月	道内	2　件	運輸業
3月	道内	1　件	エネルギー

3　新規航路誘致活動

他港との連携や新規航路の誘致に向けた取組の実施

はちとまネットワーク（苫小牧市―八戸市交流連携）

【目的・取組】

フェリー航路を活用した交流人口の拡大や、新たな海外コンテナ航路の開設等による物流機能の強化等の面において都市間連携による相乗効果を得ることを目的に、苫小牧市と八戸市（青森県）の間で平成30年7月31日に協定を締結し、取組を実施。

当協議会は、「物流・貿易」分野において東南アジアコンテナ定期航路の誘致やフェリーの PR などを実施した。

令和６年度の実施内容

開催日（場所）	項目	内容
令和6年11月7日（木） （八戸グランドホテル）	はちとまネットワーク会議	1　各分野の事業経過報告 2　意見・情報交換 3　実務担当者会議（物流・貿易分野）の開催

※詳細別添資料２
……東南アジア等コンテナ航路運航支援事業（苫小牧港管理組合の単独事業）

4　海事官庁の強化促進

「苫小牧海事官庁強化促進期成会」の会員として関係機関に要望活動を実施

実施日	項目	内容
令和6年9月24日（火）	令和6年度苫小牧海事官庁強化促進期成会	海事官庁強化等に関する中央要望を実施することを決定
令和6年9月25日（水） ～ 10月 9日（水）	道内要望	海上保安庁、財務省、国土交通省等に要望 【要望項目】 1　海上保安署の体制強化 2　海上保安署の保安部昇格 3　東港区へのコンテナ検査センターの設置 4　函館税関苫小牧税関支署の体制強化 5　苫小牧海事事務所の運輸支局への昇格
令和6年10月24日（木）	中央要望	

5　歓迎訪船事業（入港歓迎セレモニー）

入港歓迎セレモニーの実施

実施日（場所）	船名（船種）	内容
令和6年8月20日（火） （西港区・西ふ頭）	ふがく丸 （RORO 船）	1　初入港歓迎セレモニー 2　記念盾・記念品の贈呈
令和7年1月15日（水） （グランドホテルニュー王子）	さんふらわあかむい （フェリー）	1　記念盾・記念品の贈呈 （就航式典内で実施）

令和7年1月20日（月） （東港区・中央ふ頭）	かこ （内航コンテナ船）	1　初入港歓迎セレモニー 2　記念盾・記念品の贈呈

6　PR 活動

展示会・商談会等に出展し、苫小牧港の利便性等の PR 活動を実施

(1)展示会への参加

開催日（場所）	展示会名	内容
令和6年4月10日（水） ～4月12日（金） （インテックス大阪）	第５回　関西物流展 （来場者数：約2.5万人）	ブース参加※ 来客数：441人 ※苫小牧港管理組合として出展
令和6年9月10日（火） ～9月13日（金） （東京ビッグサイト）	国際物流総合展2024 （来場者数：約８万人）	ブース出展(他協議会等との共同)※ 来客数：188人 ※苫小牧東部開発連絡協議会、苫小牧地区企業誘致連絡協議会
令和7年2月19日（水） ～2月21日（金） （東京ビッグサイト）	第23回 SMART ENERGY WEEK［春］ （来場者数：約7万人）	ブース参加(他協議会の出展ブースに参加)※ 来客数：183人 ※苫小牧 CCUS･ｾﾞﾛｶｰﾎﾞﾝ推進協議会、苫小牧東部開発連絡協議会、苫小牧地区企業誘致連絡協議会、日本 CCS 調査㈱

※詳細別添資料３

(2)広告掲載

掲載日	掲載紙	内容
令和6年8月発行	日本海事新聞　別冊	八戸港と連携し、「日本コンテナ航路一覧」への広告掲載を実施

※詳細別添資料４

7　利用促進の調査研究

効果的なポートセールス活動の方策について調査研究を実施

開催日（場所）	項目	内容
令和6年5月9日（火） （苫小牧港管理組合）	ポートセールス研究会	国内・海外ポートセールス活動の実施について

令和 6 年度 一般会計 決算

収入済額　4,964,565 円
支出済額　4,666,212 円
差　　引　298,353 円（次年度へ繰越）

【収入の部】

（単位：円）

科　目	予　算　額 (A)	収 入 済 額 (B)	差　　引 (B)－(A)	備　　考
会　　費	3,882,500	3,980,000	97,500	会員=66企業・団体（1,592口×2,500円）
ﾎﾟｰﾄｾｰﾙｽ 繰 入 金	1,500,000	800,000	△700,000	
繰 越 金	183,431	183,431	0	前年度からの繰越
諸 収 入	40	1,134	1,094	預金利息
合　　計	5,565,971	4,964,565	△601,406	

【支出の部】

（単位：円）

科　目	予　算　額 (A)	支 出 済 額 (B)	差　　引 (A)－(B)	備　　考
事 業 費	5,530,000	4,666,212	863,788	理事会・総会・講演会 437,590 国内ﾎﾟｰﾄｾｰﾙｽ活動 3,651,969 （苫小牧港ｾﾐﾅｰ in 東京2024 ） 入港歓迎ｾﾚﾓﾆｰ 30,940 国際物流総合展2024 532,713 はちとまネットワーク 13,000
会 議 費	0	0	0	
事 務 費	20,000	0	20,000	事務用品等
ﾎﾟｰﾄｾｰﾙｽ 積 立 金	0	0	0	
予 備 費	15,971	0	15,971	
合　　計	5,565,971	4,666,212	899,759	

報告第 3 号

令和 6 年度　特別会計　事業報告

輸出拡大に向けた取組

1　輸出拡大に対する支援

(1) 小口貨物の混載方策について国と連携して輸出拡大に向けた取り組みを検討

(2)「海外バイヤー招へい商談会事業」セレモニーにおいて苫小牧港の紹介

日　時　：　令和6年7月25日（金）
場　所　：　札幌市中央区北1条西1丁目札幌市民交流プラザ2F
主　催　：　一般社団法人北海道国際流通機構（HIDO）

令和 6 年度 特別会計 決算

収入済額	1,886,956 円
支出済額	156,382 円
差　　引	1,730,574 円（次年度へ繰越）

【収入の部】

（単位：円）

科　目	予　算　額 (A)	収 入 済 額 (B)	差　　引 (B)－(A)	備　　考
負 担 金	4,000,000	0	△4,000,000	事業費に不足が生じなかったため、収入無し
繰 越 金	1,886,128	1,886,128	0	
諸 収 入	80	828	748	預金利息
合　　計	5,886,208	1,886,956	△3,999,252	

【支出の部】

科　目	予　算　額 (A)	支 出 済 額 (B)	差　　引 (A)－(B)	備　　考
事 業 費	5,886,208	156,382	5,729,826	小口混載ｺﾝﾃﾅ輸送支援事業（令和５年度） ー　輸送支援金　156,382
事 務 費	0	0	0	
予 備 費	0	0	0	
合　　計	5,886,208	156,382	5,729,826	

※支出の部における執行残は、輸出拡大に対する支援に係る支出が生じなかったため。

令和 6 年度 ポートセールス積立金会計 決算

収入済額	1,500,667 円
支出済額	800,000 円
差　　引	700,667 円（次年度へ繰越）

【収入の部】

（単位：円）

科　目	予　算　額 (A)	収入済額 (B)	差　　引 (B)－(A)	備　　考
負担金	0	0	0	
繰越金	1,500,053	1,500,053	0	
諸収入	5	614	609	預金利息
合　　計	1,500,058	1,500,667	609	

【支出の部】

科　目	予　算　額 (A)	支出済額 (B)	差　　引 (A)－(B)	備　　考
事業費	1,500,000	800,000	700,000	国内ポートセールス活動に係る事業費として、一般会計へ繰入
事務費	0	0	0	
予備費	0	0	0	
合　　計	1,500,000	800,000	700,000	

報告　6　号

令和６年度　会計監査報告について

令和６年度苫小牧港利用促進協議会決算について、現金出納簿、収支計算書、伝票及び預金通帳等の関係帳簿並びに証拠書類を監査した結果、収入、支出ともに正確であり、かつ適正に処理されていることを確認しましたので報告します。

令和７年５月２７日

監事　苫小牧商工会議所
専務理事
外囿　心一　印

協 議 事 項

議案第 1 号

令和 7 年度 一般会計事業計画（案）

令和 7 年度活動内容

1　会議の開催
総会及び理事会を開催

2　国内・海外ポートセールス活動
日本・海外の荷主及び船社等に対するポートセールス活動の実施

3　新規航路誘致活動
他港との連携や新規航路の誘致に向けた取組の実施

4　海事官庁の強化促進
「苫小牧海事官庁強化促進期成会」の会員として、関係機関に要望活動を実施

5　歓迎訪船事業
新造船等に対する入港歓迎セレモニーの実施

6　PR 活動
展示会・商談会等に出展し、苫小牧港の利便性等の PR 活動を実施

7　利用促進の調査研究
ポートセールス研究会を中心に、効果的な事業等について調査研究を実施

8　会員の拡大
会員の勧誘を実施

議案第 2 号

令和 7 年度 一般会計予算（案）

【収入の部】

（単位：円）

科　目	令和７年度予算額 (A)	令和６年度予算額 (B)	比較増減 (A)-(B)	備　　考
会　　費	3,990,000	3,882,500	107,500	会員=67企業･団体（1,596口×2,500円）
ﾎﾟｰﾄｾｰﾙｽ 繰 入 金	0	1,500,000	△1,500,000	
繰 越 金	298,353	183,431	114,922	前年度からの繰越
諸 収 入	347	40	307	預金利息
合　　計	4,288,700	5,565,971	△1,277,271	

【支出の部】

（単位：円）

科　目	令和７年度予算額 (A)	令和６年度予算額 (B)	比較増減 (A)-(B)	備　　考
事 業 費	1,800,000	5,530,000	△3,730,000	総会・講演会 1,000,000 入港歓迎ｾﾚﾓﾆｰ 100,000 国際物流総合展 600,000 その他 100,000
会 議 費	0	0	0	
事 務 費	20,000	20,000	0	
ﾎﾟｰﾄｾｰﾙｽ 積 立 金	2,400,000	0	2,400,000	
予 備 費	68,700	38,970	29,730	
合　　計	4,288,700	5,588,970	△1,300,270	

令和 7 年度 特別会計事業計画（案）

輸出拡大に向けた取組

1　輸出拡大に対する支援

(1)　関係機関との連携

・国土交通省北海道開発局では、北海道産品の輸出拡大に向けて、輸送コストの低減により輸出経験の少ない荷主企業や小口（小ロット）貨物でも輸出にチャレンジできるよう「小口混載輸出」の促進に取り組んでいる。

・令和7年度では、代表輸出者が複数事業者の貨物を収集し、代表輸入者へ輸送することで貨物量の確保につなげる手法を検討しており、当協議会から輸送費の一部を支援することで、苫小牧港の利用拡大につなげる。

2　トライアル輸送等に対する支援

議案第 4 号

令和 7 年度 特別会計予算（案）

【収入の部】

（単位：円）

科　目	令和７年度予算額 (A)	令和６年度予算額 (B)	比較増減 (A)－(B)	備　　考
負担金	4,000,000	4,000,000	0	事業費に不足があれば、苫小牧港管理組合より負担金を支出
繰 越 金	1,730,574	1,886,128	△155,554	
諸 収 入	426	80	346	預金利息
合　　計	5,731,000	5,886,208	△155,208	

【支出の部】

（単位：円）

科　目	令和７年度予算額 (A)	令和６年度予算額 (B)	比較増減 (A)－(B)	備　　考
事 業 費	5,731,000	5,886,208	△155,208	輸出拡大に対する支援 トライアル輸送等に対する支援
事 務 費	0	0	0	
予 備 費	0	0	0	
合　　計	5,731,000	5,886,208	△155,208	

議案第 5 号

令和７年度 ポートセールス積立金会計予算（案）

【収入の部】

（単位：円）

科　目	令和７年度予算額 （A）	令和６年度予算額 （B）	比較増減 (A)－(B)	備　　考
繰 入 金	2,400,000	0	2,400,000	一般会計より繰入
繰 越 金	700,667	1,500,053	△799,386	
諸 収 入	333	5	328	預金利息
合　　計	3,101,000	1,500,058	1,600,942	

【支出の部】

（単位：円）

科　目	令和７年度予算額 （A）	令和６年度予算額 （B）	比較増減 (A)－(B)	備　　考
事 業 費	0	1,500,000	△1,500,000	
事 務 費	0	0	0	
予 備 費	3,101,000	58	3,100,942	
合　　計	3,101,000	1,500,058	1,600,942	

苫小牧港利用促進協議会 会則

第１章　総　則

（名称）
第１条　本会は、苫小牧港利用促進協議会と称する。

（目的）
第２条　本会は、苫小牧港における内外貿易の促進を図り、港湾の振興と発展に寄与することを目的とする。

（事業）
第３条　本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。
(1)　船舶及び貨物の誘致に関すること。
(2)　内、外国定期航路の誘致に関すること。
(3)　港湾知識の普及に関すること。
(4)　苫小牧港の宣伝に関すること。
(5)　港湾情報の交換及び会員相互の親睦に関すること。
(6)　その他、本会の目的達成に必要なこと。

第２章　会　員

（会員）
第４条　本会の会員は、本会の趣旨に賛同する企業及び団体とする。

（会費）
第５条　会員は、総会で別に定める会費を納入しなければならない。
２　部会費は別に定める方法で別途徴収することができる。

第３章　役員等

（役員）
第６条　本会に、次の役員を置く。
(1)　会　　長　　１名
(2)　会長代理　　１名
(3)　理　　事　　若干名
(4)　監　　事　　若干名

（選任等）
第７条　役員は、会長が指名し、総会において承認する。ただし、会長は会員の互選によるものとする。
２　役員の任期は、２カ年とする。ただし、再任を妨げない。
３　役員は、任期満了しても次期役員が就任するまで、その職務を行うものとする。
４　役員は、任期途中の異動等により退任があった場合には、出身団体等の後任者が就任するものとする。この場合において、その任期は前任者の残任期間とする。

（職務）
第８条　会長は、本会を代表し、その業務を総理する。
２　会長代理は、会長を補佐し、会長に事故あるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代行する。
３　理事は、理事会を構成し、会則及び総会の議決に基づき、本会の業務を遂行する。
４　監事は、会計を監査する。

（顧問及び参与）
第９条　本会に顧問及び参与を置くことができる。
(1)　顧問は、会長の諮問に応じ及び会議に出席して意見を述べることができる。
(2)　参与は、会長の要請に応じ、本会の事業遂行に関する重要事項に参与することができる。
２　顧問及び参与は、会員にかかわらず関係機関・団体、企業及び学識経験者の中から理事会の議決を経て、会長が委嘱する。

第4章　会議等

（総会）
第10条　総会は、本会の運営に関する重要な事項を議決する。
２　総会は、毎年一回開催する。

（理事会）
第11条　理事会は、次の事項を議決する。
(1)　総会に付議すべき事項
(2)　総会の議決した事項の執行に関する事項
(3)　その他総会の議決を要しない会務に関する事項
２　理事会は、必要に応じ随時開催する。

（部会）
第12条　第3条の事業のうち特定の事業を遂行するため、総会の議決を経て部会を設置することができる。
(1)　部会長は、会員の中から、会長が指名した者があたる。
(2)　部会は、必要に応じ随時開催する。
(3)　部会員は、会員の中から、会長が指名する。

（会議の招集等）
第13条　総会及び理事会は、会長が招集し、議長は、会長がこれに当たる。
２　部会は、部会長が招集し、議長は、部会長がこれにあたる。

第5章　財　務

（経費）
第14条　本会の経費は、会費、補助金、寄付金等をもって、これに充てる。

（会計年度）
第15条　本会の会計年度は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

第6章　事務局

（設置等）
第16条　本会の事務を処理するため、事務局を苫小牧港管理組合内に置く。
２　事務局に事務局長及び所要の職員を置く。
３　事務局長及び職員は、会長が任免する。

第7章　補　則

（その他）
第17条　この会則に定めるもののほか、本会運営に必要な事項は、総会の議決を経て、会長が別に定める。

附　則
１　この会則は、平成5年6月8日から施行する。
２　本会の当初の役員は、第7条の規定にかかわらず、平成7年3月31日までとする。
３　本会の初年度の会計年度は、第14条の規定にかかわらず、当初の総会開催の日から、平成6年6月31日までとする。
４　会則第5条に基づく会費の額は、一口2,500円とする。

附　則（平成16年5月28日改正）
この会則は、平成16年5月28日から施行する。

附　則（平成18年5月10日改正）
この会則は、平成18年5月10日から施行する。

附　則（平成21年5月28日改正）
この会則は、平成21年5月28日から施行する。

附　則（平成22年5月26日改正）
この会則は、平成22年5月26日から施行する。

苫小牧港利用促進協議会　会員名簿

いすゞエンジン製造北海道株式会社
出光興産株式会社北海道製油所
株式会社イワクラ
岩倉海陸運輸株式会社
王子製紙株式会社苫小牧工場
王子木材緑化株式会社北海道支店
川崎近海汽船株式会社苫小牧支店
近海郵船北海道株式会社苫小牧本店
栗林海陸輸送株式会社
栗林機工株式会社
株式会社栗林商会苫小牧支社
栗林商船株式会社苫小牧支社
札幌通運株式会社苫小牧支店
山九株式会社苫小牧支店
株式会社商船三井さんふらわあ
新日本海フェリー株式会社苫小牧支店
一般社団法人全日検北海道事業所
太平洋フェリー株式会社苫小牧港営業所
苫小牧共同バース管理株式会社
株式会社苫小牧協和サービス
苫小牧栗林運輸株式会社
JX金属苫小牧ケミカル株式会社
苫小牧港開発株式会社
苫小牧国際コンテナターミナル株式会社
苫小牧港管理組合
苫小牧港木材振興株式会社
苫小牧港湾振興会
苫小牧商工会議所
苫小牧信用金庫
協同組合苫小牧タグセンター
苫小牧埠頭株式会社
苫小牧北倉港運株式会社
苫小牧水先区水先人会
苫小牧木材港運株式会社
株式会社とませい
株式会社苫東
苫東共同港運倉庫株式会社
苫東コールセンター株式会社
トヨタ自動車北海道株式会社
ナラサキスタックス株式会社
ナラサキ石油株式会社
一般社団法人日本貨物検数協会北海道支部
日本軽金属株式会社苫小牧製造所
日本梱包運輸倉庫株式会社苫小牧営業所
日本製紙株式会社白老工場
日本通運株式会社苫小牧支店
株式会社ニュートレーディングブリッジ
ノーススタートランスポート株式会社苫小牧支店
菱中海陸運輸株式会社
株式会社フジトランスコーポレーション北海道支店
ＮＸ北旺運輸株式会社
株式会社北洋銀行苫小牧中央支店
北海運輸株式会社苫小牧支社
北海道運搬機株式会社苫小牧本店
株式会社北海道銀行苫小牧支店
北海道石炭荷役株式会社
北海道石油共同備蓄株式会社北海道事業所
北海道曹達株式会社
北海道電力株式会社苫東厚真発電所
株式会社北海道日新
北海道防疫燻蒸株式会社苫小牧事業所
株式会社北陸銀行
三ツ輪運輸株式会社苫小牧支店
一般社団法人室苫植物検疫協会苫小牧事務所
名鉄観光サービス株式会社苫小牧支店
株式会社近畿日本ツーリスト苫小牧営業所
株式会社日本旅行北海道苫小牧支店

計 67 企業・団体

別 添 資 料

苫小牧港セミナー in　東京 2024　開催報告書

１　開催日時
2024年11月13日（水）　18:30　～　20:30

２　開催場所
ホテル雅叙園東京　2階　大宴会場　「舞扇」

３　内容
　日頃より苫小牧港をご利用いただいている船会社や代理店、物流関係者をお招きし、苫小牧港利用促進協議会の主催で立食形式のセミナーを実施しました。
　立食形式のセミナーは4年ぶりの開催となり、参加者合計は約420名と過去最大規模のセミナーとなりました。従来の船会社・荷主の企業様以外にも新エネルギー・DX・半導体関係の企業様も多くご来場いただきました。

４　参加者数
参加者合計　　約 420名
内訳
来場者（招待客）　約 350名
関係者　　約　70名（苫小牧港利用促進協議会会員）

記

【 セミナー次第 】
１　開会

２　来賓挨拶
衆議院議員　山岡　達丸　様

３　主催者挨拶・苫小牧港の紹介
苫小牧港利用促進協議会　会長代理
苫小牧港管理組合管理者　専任副管理者　佐々木　秀郎

４　乾杯
苫小牧市長職務代理者　苫小牧市　副市長　木村　淳

５　苫小牧港大抽選会

６　中締め
苫小牧港利用促進協議会　苫小牧商工会議所　会頭　宮本　知治

７　閉会

【 写 真 】

＜来賓挨拶(衆議院議員　山岡　達丸　様)＞

＜主催者挨拶（佐々木専任副管理者）＞

＜乾杯（木村副市長）＞

＜中締め（宮本会頭）＞

＜当日の様子＞

【本件に対するお問い合わせ】
苫小牧港利用促進協議会　事務局
苫小牧港管理組合　総務部　港湾政策室　政策推進課
電話　0144-34-5905　　FAX　0144-34-5559

別添資料2

東南アジア等コンテナ航路運航支援事業

苫小牧港管理組合
Tomakomai Port Authority

苫小牧港は、農水産品等の輸出拡大に向け、輸出にかかる時間とコストの短縮を目的に、「苫小牧港東南アジア等コンテナ航路運航支援事業」を創設し、苫小牧港と東南アジア地域等を結ぶ直航航路の就航を支援します。

農水産品の主要な産地である北海道と、一大消費地に挙げられる東南アジア地域等との間に直行航路が就航することにより、荷主やフォワーダーは、より多様な輸送ルートの中から商品・物量・時期に応じた最適な輸送ルート・輸送手段を選択できるようになる。

補助概要

◆ **補助対象**

苫小牧港と東南アジア地域等を結ぶ航路を新規開設した船社

◆ **補助額**

１寄港あたりかかった経費の10／10以内
上限600万円（※初回寄港に限る）

農水産品の輸出拡大に資する取組

本事業の創設によって期待される新たな航路の就航や、これまで実施してきた農水産品等の輸出拡大に資する各種取組を通じて、**苫小牧港の利便性向上を実現**

農水産品等の輸出貨物を新たに創出し、**５兆円に設定された農林水産物・食品輸出額の政府目標の達成に向けた取組を推進**していく。

第５回　関西物流展出展結果

1　開催日時：令和６年４月１０日（水）～１２日（金）
　　10：00～17：00（最終日のみ 16：00 まで）

2　開催概要：主催　関西物流展 実行委員会
　　後援　経済産業省 近畿経済産業局、国土交通省 近畿運輸局、大阪府
　　大阪市、堺市公益社団法人関西経済連合会、大阪商工会議所
　　会場　インテックス大阪

3　展示会来場者数　25,300 名（1 日目 7,994 名、2 日目 8,467 名、3 日目 8,839 名）

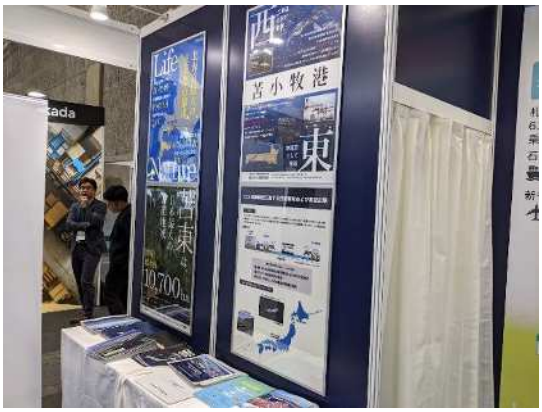
4　出展ブース概要
　　出展社名：『苫小牧港管理組合』
　　場　　所：４号館　C2-51
　　ブース来場者数　約 441 名

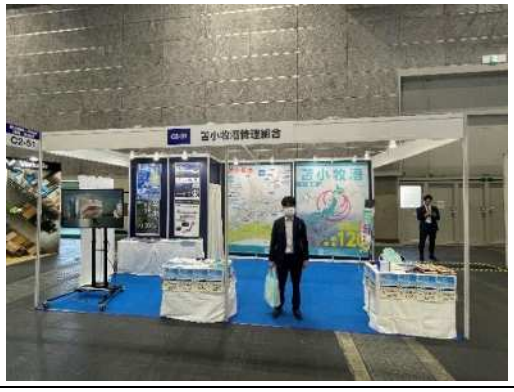
5　主なトピックス
・中国から食品（はるさめ）を北海道に輸入している。X 線検査場の距離をどうにかしてほしい。　※通関業
・新たに秋田から道内に住宅建材を運びたい。航路を教えてほしい。※木材商社
・牡蠣の養殖資材を厚岸に輸入したい。航路を教えてほしい。※輸入商社
・苫小牧に営業所を開設したい。　※商社

6　成果・課題
　昨年度から出展を開始し、２年目となる本展示会だが、昨年よりも具体な話が多く、戻ってきてからのフォロー案件も多いため、実りのある展示会であった。
　今後の課題としては目の引くブース設営の検討（例えばモニュメント設置や壁面にプロジェクタなど）や配布ノベルティの精査が必要。
　また、関連企業（主に新日海、近海、栗林）との情報共有を図り、パネルやパンフレットの精査、展示品の提供依頼も検討する必要がある。
　今年度の成果・課題を踏まえて、来年度出展する際は半年程度の準備期間を確保し、より良い出展にしたい。

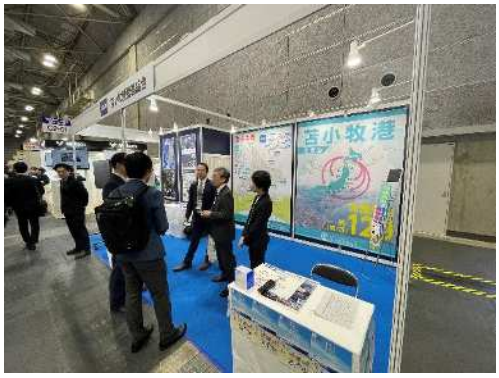
C2-51
苫小牧港管理組合
苫小牧港

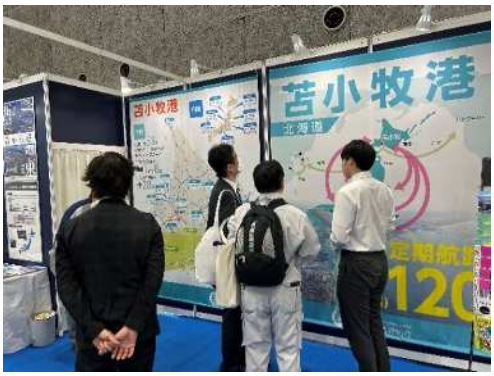
苫小牧港
苫小牧港
北海道
定期航路
約
(便/週)
120


苫小牧港
東


苫小牧港管理組合
C2-51
苫小牧港

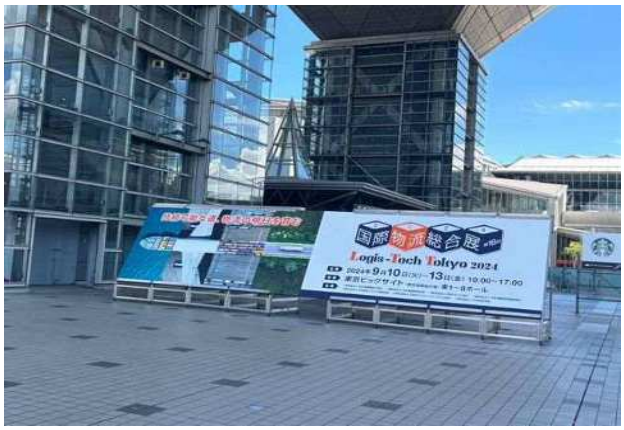
苫小牧港管理組合
C2-51

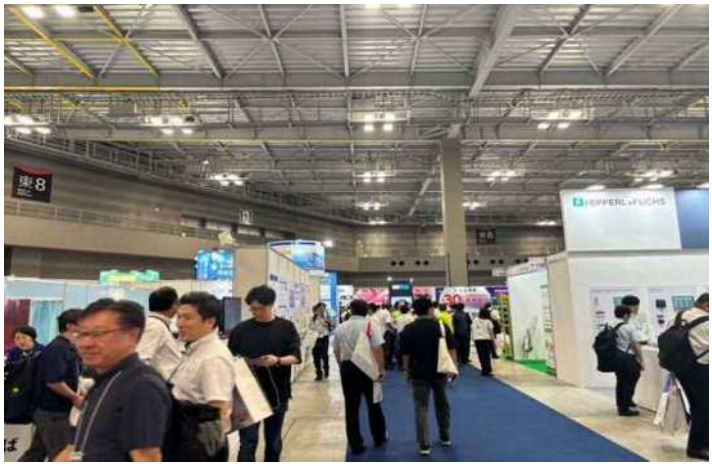

苫小牧港


苫小牧港
苫小牧港
北海道
定期航路
120

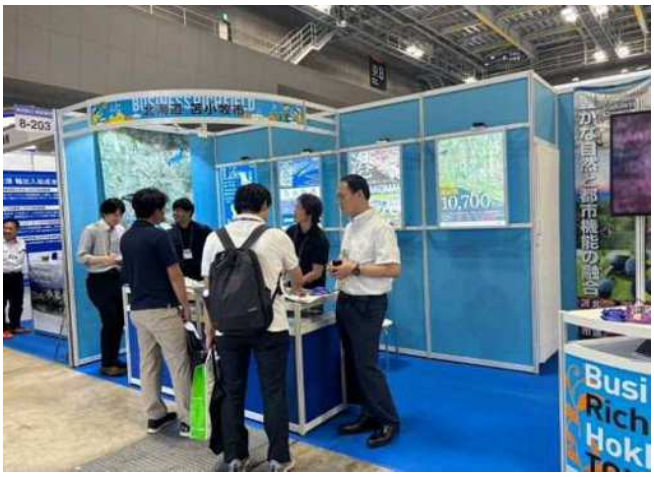
国際物流総合展2024　出展参加報告書

・ブース来場者が昨年より減少。（名刺交換 188 名＋α　※昨年 212 名　※官公庁除く）
・港湾・物流関係企業をはじめとする多くの企業、関係者に来場いただいた。
・メインは港湾、物流関係者で、話題も港湾貨物量や航路の質問が多かった。
・次いでラピダスやデータセンターに係る質問が多かった。
・ブース対応人数は時間によって 2 人体制の時間帯があったが、対応できないことや待たせてしまうことはなかった。
・そのほかの時間は常時 3～4 名体制の形をとっており、人員には余裕があった。
・市と港のパンフレットに関しては昨年よりも多めに準備していたため品薄になることはなかったが、苫東のパンフレットが前半でほぼほぼなくなってしまったため来年は多く準備する必要がある。
・今年度は北海道の申し込みが遅れ、キャンセル待ちでの出展となったため、来年度は早めに申し込みを行う。
・昨年度は苫小牧港を PR するセミナーを行ったが、今年度は繰り上げになった時にはセミナー枠が埋まってしまっていたためセミナーは行っていない。


国際物流総合展
Logis-Tech Tokyo 2024


PEPPERL+FUCHS

「見ればわかる化」
～誰が見てもすぐわかる床面注意喚起～



Business
Rich Field
Hokkaido
TOMAKOMAI

「スマートエネルギーWEEK2025」　開催結果概要

１　実施目的

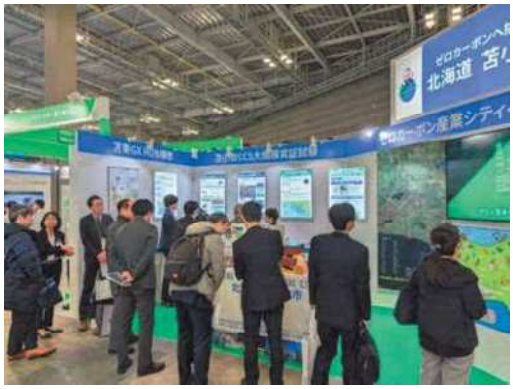
世界最大級のエネルギー総合展。2050 年カーボンニュートラル実現に向けた水素・燃料電池、太陽光発電、二次電池、スマートグリッド、洋上風力、バイオマス発電、ゼロエミッション火力などあらゆる技術が出展し、世界各国から専門家等が来場する展示会。

２　開催概要

日　時：令和７年２月 19 日（水）～２月２１日（金）
会　場：東京ビッグサイト
参加者：68,840 名

３　所感等

・昨今のゼロカーボンに関する企業の取組の活発化により昨年比で出展者数が増加しており、来場者のみではなく出展者も当ブースに多く立ち寄り有意義な情報交換ができた。
・接客している中で最初に話題になるのは CCS 関連が多く、事業の説明や今後の CCS の展開などについても聞かれることが多かった印象。（CCS の模型が好評であった。）
・CCS の話に次いで、脱炭素先行地域や苫小牧市のゼロカーボンの優位性についての話も多く出ており、ゼロカーボンにかかわる企業の市への関心度の高さが見受けられた。（蓄電池の需要家の情報を求めている企業が多かった。）
・ブースに来場者が５人以上いるような混雑している時間帯が非常に多かったが、ＪＣＣＳやほくでんネットワークからも人員を出してもらったことで対応もスムーズとなり、道担当者、誘致協各構成団体の担当者ともうまく連携をとれていた。
・企業誘致のパンフレットよりはゼロカーボン関係の資料（脱炭素先行地域、苫小牧のゼロカーボンの取り組み、カーボンニュートラルポート）が多く求められており、次年度は資料の調整が必要。
・当展示会においては、直接、企業誘致につながるような話は多くないが、企業誘致活動を推進していく中で、ゼロカーボンの優位性は必要なカテゴリーであり、次年度も出展を継続し、苫小牧のゼロカーボンを PR するとともに、より多くの企業との接触を図っていきたい。



出展資料をダウンロードする（無料）（https://www.wsew.jp/spring/ja-jp/gbs/sales/ex/gx.html?mpDistinctId=JGRldmljZToxOTU1OWIxYjE3NDZmOS0wMjJjNDNhNmY0Y2ViOS00YzY1N2I1OC0xNDAwMDAtMTk1NTliMWIxNzQ2Zjk%3D&locale=ja-JP&interfaceLocale=ja-JP)

第23回 SMART ENERGY WEEK [春]
第6回 GX経営WEEK [春]

来場者数

2025年2月25日(月)　RX Japan 株式会社

2/19(水)	2/20(木)	2/21(金)
21,553名	23,710名	23,577名

3日間合計
68,840名

※１人の来場者が、同日に複数回来場した場合は１名と集計
※１人の来場者が、複数日来場した場合は、その日数分を集計（例：１人が２日間来場した場合は、２名と集計）
※上記には、出展者・報道関係者は含みません

第7回 GX経営WEEK【秋】

2025年9月17日(水)～19日(金)

幕張メッセ(/autumn/ja-jp/visit/access.html)
decarbonisation-expo.jp@rxglobal.com(mailto:decarbonisation-expo.jp@rxglobal.com)
03-6739-4119

第5回 GX経営WEEK【関西】

2025年11月19日(水)～21日(金)

インテックス大阪(/osaka/ja-jp/visit/access.html)
decarbonisation-expo.jp@rxglobal.com(mailto:decarbonisation-expo.jp@rxglobal.com)
03-6739-4119

第8回 GX経営WEEK【春】

産業と暮らしを支える北の物流拠点

苫小牧港の情報

苫小牧港

豊富な定期航路と充実した設備

苫小牧港➡札幌 車で約60分　苫小牧港➡新千歳空港 車で約20分

国内有数の内航定期航路
計 21航路 107便/週 就航

道内一の外航定期航路
計 6航路 7便/週 就航
※国際フィーダー 3便/週

ガントリークレーン 4基体制
コンテナ荷役機能の効率化

北海道クールロジスティクスプレイス
（温度管理型冷凍冷蔵庫）
道内最大級の収容能力
混載貨物の仕分け
積み込み機能あり

豊富なREFコンセント
道内最大級の
コンセント数（458口）
増加する道産農水産物の
輸出需要に対応

新規航路誘致を目指し連携！ はちとまネットワーク

「はちとまネットワーク」は、八戸市と苫小牧市が港湾などの部門で連携し、相乗効果による互いのさらなる発展を目指す取り組みです。

北東北の国際物流拠点港

八戸港

コンテナ関連補助金制度のご案内

2024年度の申請受付を開始しています！

- 補助対象期間 … ①～⑦　2024/1/1 ～ 2024/12/31
- 申請受付締切 … ①、②、⑦ 2024/11/29（金）
  ③～⑥　2025/1/31（金）

※予算上限に達した場合、それ以降は仮受付となります。

八戸港全景（国土交通省八戸港湾・空港整備事務所提供）

①－1 新規・シフト貨物利用促進事業費補助金	荷主向け	加算メニュー ● リーファー加算
①－2 コンテナ貨物陸送費支援補助金	荷主向け	
② モーダルシフトトライアル輸送事業費補助金	荷主向け	
③ 継続大口利用者支援助成金	荷主向け	
④ くん蒸上屋利用事業費補助金	荷主向け	
⑤ 小口混載貨物輸送事業費補助金	荷主向け	
⑥ 小口混載貨物サービス事業支援助成金	サービス事業者向け	
⑦ コンテナ定期航路運航支援補助金（新規航路の開設、トライアル運航、スポット配船、既存航路）	船社向け	

中国・韓国航路 週1便
韓国航路 週2便
国際フィーダー航路 週3便
国内航路 月1便

TOMAKOMAI Port Authority

苫小牧港利用促進協議会
〒053-0003 北海道苫小牧市入船町3丁目4-21
事務局　苫小牧港管理組合 政策推進課
TEL 0144-34-5905 FAX 0144-34-5559

八戸港国際物流拠点化推進協議会
〒031-8686 青森県八戸市内丸1丁目1-1
事務局　八戸市商工課 貿易・物流対策グループ
TEL 0178-43-9244 FAX 0178-43-2146

PORT OF HACHINOHE